



2019年4月15日

各 位

会 社 名 株式会社フジミインコーポレーテッド
代表者名 代表取締役社長 関 敬 史
(コード番号 5384 東証・名証第一部)
問合せ先 取締役財務本部長 鈴木 彰
(TEL 052-503-8181)

当社取締役会の実効性に関する自己評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値向上を継続的に図ることを目的に、毎年、取締役会の実効性評価を実施しております。

本日開催の取締役会において、2018年度(2018年4月1日から2019年3月31日)の取締役会の実効性に関する分析、評価を行いましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 前年度の取締役会の実効性評価において改善の必要性が認められた項目に対する改善対策の実施状況について
 - (1) 取締役会付議資料及び報告資料の内容・分量の適正化
取締役及び監査役が取締役会において効率的かつ質の高い議論ができるよう、資料の定期評価を継続的に実施し、資料の内容・分量の適正化を推進いたしました。
 - (2) 審議資料を十分に検討する時間を確保する仕組みの構築
取締役及び監査役が審議資料を十分に検討したうえで取締役会において議論できるよう、審議資料発信後に追加・修正を要する場合の資料差替えに関するルールを定め、その運用を開始いたしました。
 - (3) 所定の審議時間内での議論・決議・報告を可能とする取締役会運営方法の構築
取締役及び監査役が取締役会において審議時間内で議論・報告を行うことができるよう、議案毎に審議予定時間を設定し、実績との差異を検証・改善する取組みを開始いたしました。
 - (4) 取締役会で審議すべき議案を定期見直しする仕組みの構築
取締役及び監査役が取締役会において審議すべき議案を議論することができるよう、定期的に審議状況を振り返り、議案の見直しを行う仕組みの検討を開始いたしました。

2. 2018年度の取締役会の実効性評価方法

取締役及び監査役を対象に2019年2月に以下のアンケートを行い、全員から回答を得ました。(回答は無記名)

【取締役会の実効性に関するアンケート内容 4段階評価】

- (1) 取締役会の構成に関する設問(2問)
- (2) 取締役会の運営に関する設問(7問)
- (3) 取締役会の議題に関する設問(4問)
- (4) 取締役会を支える体制に関する設問(6問)
- (5) 自由記述 ※(1)～(4)全ての設問に対してコメントが記載できる方式

3. 2018年度の実効性分析・評価結果の概要

2018年度の実効性評価結果を総合的に分析・評価した結果、前年度に比べ、取締役会の構成・運営・議題・支える体制の全設問において評価が改善しており、実効性は確保されていると判断しております。しかしながら、以下の点については取締役会の実効性をより一層高める上で、引き続き改善を図る必要性が認められた為、さらなる対策を講じてまいります。

- (1) 取締役会付議資料及び報告資料の内容・分量の適正化
- (2) 審議資料を十分に検討する時間を確保する仕組みの構築
- (3) 所定の審議時間内での議論・決議・報告を可能とする取締役会運営方法の構築

以上